

8月22日(金)～23日(土)「第64回全国高等学校PTA連合会大会 福井大会」に執行部から副会長3名が参加させていただきました。全体会では各都道府県から保護者、教員の方々約1万名がメイン会場サンドーム福井他2会場に集結、テーマに「教育と考福～未来に引き継ぐ知と恵み」を掲げ研究協議会が開催されました。開会式では大会会長式辞、実行委員長挨拶の後、来賓祝辞に下村博文文部科学大臣が2020年までに大学教育の改革を提言されました。



《全体会・基調講演》

「今求められる考福脳～脳科学者からの提案～  
脳科学者 茂木健一郎氏



茂木氏の講演はとても心に響くことばの連続で、一時間があったという間に過ぎました。ここでは全てを紹介できませんが、抜粋してほんの一部を紹介します。活字ではなかなか伝わらない部分があり、機会があれば子どもたちに生の声を聴かせてあげたい気持ちでいっぱいです。

- ・人は欠点のすぐそこに長所がある。個々の個性を受け入れてそれをのばしてあげればよい。
- ・人間の脳の中には、自分が今まで出来なかったことが出来ると喜びを感じるドーパミンという物質が放出される。出来ない事にどれだけ挑戦できるか、乗り越える喜びドーパミンの放出の連続、その結果、欠点が長所になる。
- ・人は自分ができないと思った事ができた時にのびるんだ。できない事にどれだけ挑戦できるか。それが大切。

《分科会》

全体会の後は7つの分科会会場に分かれて、それぞれ研究発表が行われました。私たちは鯖江市民文化センターで行われた特別第1分科会場に向かいました。

地元高校生によるアトラクションののち、「ものづくりの国、巧の技は次代へ」をテーマにパネリストによる講演とパネルディスカッションが行われました。



鯖江高校と丹南高校の吹奏楽部の息のあった合同バンド

鯖江の眼鏡枠、越前漆器、越前和紙など日々進化する匠の技を次世代に継承するための独自の手法と高校教育との共通性を探りました。



《大会二日目》

アトラクション。まずは「日本一のファンキーバンド」武生商業高校吹奏楽部によるステージ。会場参加者を巻き込んで、福井の良さがとても伝わるステージになりました。次に福井商業高校チアリーダー部 JETS のチアダンス。こちらも64名の部員が一致団結、その演技に会場みんな魅了されました。

記念講演。恐竜博物館特別館長 東洋一氏による「福井の恐竜～アジア、そして世界へ～」では恐竜研究の奥深さを改めて実感しました。

武生商業高校吹奏楽部



Let's Groove with TAKESHO Band!!



地元新聞にも今大会の様子が掲載されました。